



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学
事務局：〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
H P square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 9 (2014.12)

[会議報告] 近畿ブロック支部代議員会 & 府県別代議員会 (11月30日)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

近畿地方会の昼食時に、近畿ブロック支部代議員会が開催されました。参加者は54名でした。

全府県での支部結成に向けた活動を円滑に進めるため、幹事の定数を増加する規約の改定を行いました。

・近畿ブロック支部会則 第3章「役員」 第10条

(旧) 幹事 15名以内

(新) 幹事 20名以内

続いて、各府県の支部立ち上げ準備会等からの推薦により、新幹事として以下の4名の方を承認しました。



府県別代議員会



府県別代議員会

- ・関 透 先生 (京都：関医院)
- ・松井 善典 先生 (滋賀：浅井東診療所)
- ・石丸 裕康 先生 (奈良：天理よろづ相談所病院)
- ・吉本 清巳 先生 (奈良：奈良医大 総合医療学)

地方会終了後には同会場で、各府県に分かれての地区別代議員会を開催し、府県支部立ち上げに向けて準備を進めました。滋賀県については、今回は参加困難な代議員が多かったため、集会を見合わせましたが、12月中に担当者の打ち合わせを行い、年度内の発足をめざして準備中です。

尚、学会会員の 都府県(支部)の所属は、原則「勤務先」の所在地とし、ブロック支部長(ブロック支部事務局)に申し出ることにより、移動(又は重複)が可能 となっております。勤務地以外の府県支部への所属をご希望の方は、近畿ブロック支部事務局まで、ご連絡をお願いいたします。

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・幹事 : 福原俊一 (学会理事)、朝倉健太郎、足立光平、石丸裕康、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、松井善典、松村理司、水野融、三ツ浪健一、吉本清巳
- ・監事 : 大島久明、澤木政光



【勉強会報告】第28回プライマリ・ケアを語ろう・おおさか勉強会 (8月24日)

大島 民旗 (ファミリークリニックなごみ/大阪市淀川区)

大阪地区勉強会として歴史のある「プライマリ・ケアを語ろう・おおさか」第29回目が大阪市内で開催されました。

今回は、「アルコール依存症の予防介入～ブリーフ・インターベンション～」と題し、肥前精神医療センター院長の 杠 (ゆずりは) 岳文先生をお招きしました。

講演では、アルコールが低価格で売られており、最近若い世代では飲酒者の割合が女性のほうが多いこと、アルコールの単位は日本では日本酒1合(20g)を1単位としてきたが、日本でも諸外国にならい10gを1ドリンクとすることが望ましいこと。毎日平均して飲むより数日で大量に飲むほうが飲酒に伴う事故や虚血性心疾患のリスクが多いこと、などが紹介されました。

これからのアルコール医療として、断酒を唯一の目標とするアルコール依存量治療から、節酒から始めることのほうがより多くの方に治療効果が得られることが多く、その方法としてブリーフ・インターベンションが紹介されロールプレイを行いました。2～3回のセッションで、定式化されたフォーマットを用いて、フィードバック、アドバイス、ゴールセッティング、の3つの要素を進めれば、誰でも比較的簡単に節酒の指導ができ成果もあるというものでした。

クリニカル・パールとして、高級クラブのママを見本に(ほめ上手)、集団で行うとよい(誰か一人か二人は2回目で行動変容している人がいて全体が引っ張られる)、などプライマリ・ケア医にとって非常に示唆に富む内容でした。



【勉強会報告】兵庫県プライマリ・ケア協議会研究集会 (11月22日)

戸田 和夫 (戸田内科・リハビリテーション科/兵庫県明石市)

最初の教育講演では、「がん緩和ケアの地域連携と多職種協働」と題して、県立がんセンターの池垣淳一氏から、退院前カンファレンスを中心とした地域連携の重要性と、緩和ケアを巡って患者さんとの関係性について、詳細に解説をいただきました。

続いて「地域ケア会議の現状とこれから」と題して、在宅ケアに関わるそれぞれの立場から現状や課題についてお話をいただきました。行政の立場から、兵庫県の高齢対策課長の小野俊樹氏に、制度改正について、改めて地域支援事業の重要性と地域ケア会議の必要性について語っていただきました。地域包括支援センター・ケアマネジャーの立場からは、明石市医師会 地域包

括支援センターの赤松みどり氏から、明石市要援護者保健医療福祉システムについて解説いただきました。20年を超える歴史があり、医師会を中心としたシステムを展開して高齢者を広く援護する仕組みを構築していました。訪問看護師の立場からは、兵庫県看護協会 尼崎訪問看護ステーションの並河直子氏から、尼崎における要援護高齢者の状況と社会資源についての解説がありました。地域医師会・かかりつけ医の立場からは、兵庫県医師会の理事であり、西宮で開業されている三浦一樹氏より、市の主導だった多職種連携システムに、医師会が関わることによって「メディカルケア ネット西宮」を結成し、勉強会や事例検討会を行うことで多職種連携をより強固にする取り組みについて解説されました。

最後に、演者全員に登壇いただき、シンポジウムも行いました。医師と地域ケアの関係性についての質問や、情報を共有する上で問題となる個人情報への壁について討議されました。



【活動報告】後期研修プログラム関連の取り組み報告

朝倉 健太郎 (健生会 大福診療所/奈良県桜井市)

11月9日、プログラム責任者の会が実施され(秋季生涯教育セミナー:大阪科学技術センター)、多数の責任者が参加しました。総合診療専門医の動向に関する報告、プログラム認定に関して報告、質疑応答がなされました。今後、専門医制度と歩みを合わせながらプログラム整備が進められていきますが、教育実践の充実もますます求められます。近畿ブロック支部でもプログラム交流を目的としたサイトビジットなどが予定されており、ご期待下さい。また2015年3月には下記要項にてポートフォリオ発表会が企画されています。後期研修医が日常の学びを発表し合い研鑽を深める企画ですが、是非、みなさまの積極的なご参加、教育的関わりをよろしく願いいたします。

○第7回 近畿家庭医療学後期研修医ポートフォリオ発表会のお知らせ

【対象】後期研修医、指導者、医学生・初期研修医、ベテラン医師

【日時】2015年3月1日(日)14時~18時

【会場】CIVI研修センター 新大阪東 <http://www.civi-c.co.jp/access.html>

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目19番4号 新大阪NLCビル 6F

【内容】後期研修医によるポートフォリオ発表(発表は近畿圏の家庭医療後期研修プログラム在籍者)とし、Show-case Portfolio形式「自分はこんなことができる、できた」で達成した内容を報告する。

【発表領域】後期研修1・2年目「患者中心・家族志向の医療を提供する能力」「すべての医師が備える能力」から発表することを推奨

後期研修3年目「包括的で継続的かつ効率的な医療を提供する能力」「地域・コミュニティをケアする能力」「教育/研究」から発表することを推奨

※終了後、懇親会を予定しております。

【参加申し込み・問い合わせ先】実行委員長 草野超夫 supao5973@gmail.com

講演会等のご案内

2015年4月13日(月)、4月14日(火) 国立京都国際会館

World Health Summit Regional Meeting Asia, Kyoto 2015

(公式HP: <http://www.worldhealthsummit.org/regional-meeting/>)



WORLD
HEALTH
SUMMIT

シンポジウム:「近未来の医療を支えるプライマリ・ケア」

【座長】丸山 泉(日本プライマリ・ケア連合学会理事長)、Thomas S. Inui (Indiana University 教授)

【演者】Leiyu Shi (Johns Hopkins Primary Care Policy センター長)

Amanda Howe (University of East Anglia 教授、イギリス家庭医療学会(次期世界家庭医療学会会長))

Lee Kheng Hock (Singapore General Hospital 准教授、シンガポール家庭医療学会)

草場 鉄周(日本プライマリ・ケア連合学会副理事長)

【主催】京都大学 【共催】福島県立医科大学、日本プライマリ・ケア連合学会

【後援】文部科学省、復興庁、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、第29回日本医学会総会 2015 関西

【事前申込】必要(Web登録) 【取得可能単位】日本プライマリ・ケア連合学会専門医/認定医(予定)

【参加費用】早期登録 一般18,000円、研究者11,000円、学生1,000円(2015年1月31日迄)

事前登録 一般20,000円、研究者13,000円、学生2,000円

【問合せ先】WHSRM 2015 主催事務局 E-mail: WHSRM2015@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学 医学・病院構内共通事務部 内

【コメント】社会の高齢化にいかに対応するべきか、世界中が日本の実践に注目しています。

「Resilience(折れない力)を医療に」をテーマに議論します。(福原 俊一:京都大学/福島県立医科大学)

[ご案内] 地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募 (2014.6.22 一部改定部分を 下線 で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

<参考> 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の用途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。(概ね、写真1点+600字、写真が困難な場合は文字のみ 700字) また、交流推進のため地方会での一般演題発表も歓迎する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(82円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。